

3月は、3回目となる総会を開催したあと、尾関さんから岐阜の活動報告がありました。

平成25（2013）年度総会

「平成24年度事業報告及び会計報告」と「平成25年度事業計画及び予算案」に続いて、横浜美術館の柏木学芸教育グループ長から特別報告がありました。去る12月の横浜市議会で、横浜美術館の25年4月1日から35年3月31日までの指定管理者を公益財団法人横浜市芸術文化振興財団とすることが可決されました。その事業計画には原三溪市民研究会との連携が謳われています。研究会の今後の活動内容については、これを踏まえてアイデアを練ることが求められることになります。

平成25年度の運営委員は、平成24年度のメンバーが留任することになりました。



岐阜の活動報告

発表者：尾関孝彦

原三溪市民研究会の岐阜支部担当であり、同時に岐阜の「原三溪・柳津文化の里構想実行委員会」でも活動している尾関さんから、同実行委のこの1年の活動が報告されました。

同実行委では、3か月に1回の例会や、年1回以上の研修会、そして熊倉功夫先生や丸山幸太郎先生という専門家を招いた講演会や顕彰講座を開催してきました。講演会を岐阜市教育委員会と共催したり、地元の子供会・高校・大学を巻き込むなど、その活動は地域での広がりを見せています。とても詳しい研修の配布資料や、活動のスナップ写真からは、イベントの規模の大きさや熱気が感じられました。



↑ 「広報ぎふ」の2月1日号と2月15日号には原三溪の特集が掲載されました。